

農地耕作条件改善事業(病虫害対策型)における定額助成の仕組み

定額助成は農業者の自力施工を活用し、機動的に基盤整備を実施する仕組み

- ✓ **助成単価**は標準的な工事費の**1 / 2**相当
- ✓ 農業者の**自力施工**は**必須**



- 【該当工種】
- 反転耕
 - 堆肥施用
 - 混層耕
 - 明渠排水

堆肥施用の一例

助成単価 1万5千円 / 10a (標準的な工事費 3万 / 10aの 1 / 2相当)

機械リース等
での施工



標準的な作業

① 堆肥購入

② 堆肥散布

③ 耕地復旧

自力施工



農業者施工(自力施工)で留意すること

- 必ず、一部または全部の作業を農業者が自ら行うこと
※事業費に対する助成単価の残分(事業費の1 / 2)は、金銭若しくは自力施工分の金額換算で賄うこととなります。
金額換算については、作業実績等をもとに算定します。
- 「農業者が農作業事故等に備えた保険に加入していない場合」又は「加入した保険が農業者施工において適用対象とならない場合」は、**傷害保険等に加入**する。
- 実施後は施工したことがわかるように
 - ① **写真** (施工前, 実施中, 完成)
 - ② **作業実績** (作業日誌, 作業出役簿など作業状況のわかるもの)
 - ③ **購入・リースした資材等の領収書や明細** (事業で使用した数量が確認出来るもの)を**市町村(事業主体)に提出**する。

各事業種類別の施工例(作業内容等)

助成金対象作業

農業者自力施工対象作業

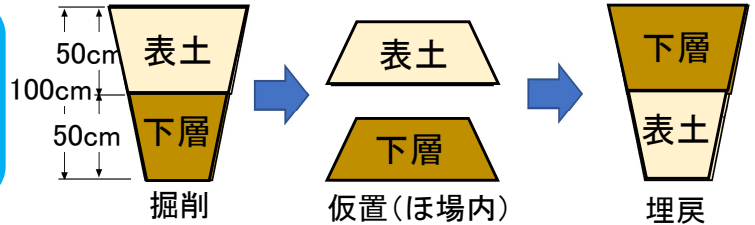
反転耕

助成単価20.5万/10a(標準的な工事費41万/10aの1/2相当)

【反転耕の標準的な作業例】

- ① 表土はぎ取り
- ② 下層土掘削(無菌土)
- ③ 表土の投入
- ④ 下層土投入(無菌土)
- ⑤ 耕地復旧【自力施工】

機械リース等



混層耕

助成単価1万5千円/10a(標準的な工事費3万/10aの1/2相当)

【混層耕の標準的な作業例】

- ① 深層式プラウによる耕起【機械リース等】
(建設用トラクター等の利用)
- ② 耕地復旧【自力施工】



堆肥施用

助成単価1万5千円/10a(標準的な工事費3万/10aの1/2相当)

【堆肥施用の標準的な作業例】

- ① 堆肥購入【購入】
- ② 堆肥散布【機械リース等】
- ③ 耕地復旧【自力施工】



明渠排水

助成単価1万円/100m(標準的な工事費2万/100mの1/2相当)

【明渠排水の標準的な作業例】

- ① バックホウ掘削【機械リース等】
(トラクターで牽引する溝堀機でも可)
- ② 排水口と明渠との接続部の整備
- ③ 耕地復旧【自力施工】



注：機械リースのオペレーターは農業者が条件

※上記以外に必要な作業については適宜追加してください(作業可能)。
ただし、追加作業が助成金の対象となるかについては、必ず市町村窓口へ確認してください。